



日動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号 (動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2939 番
(公) 043 (222) 7207 番

97.1.28 No. 4537

開 会 総 会 分 科 乗 務 員 第 十 六 回 子 銚 子 支 部 第 十 七 回 支 部 定 期 委 員 会 催 進

九七・三ダイ改阻止！！ 倉機関区廃止阻止！！

一月二四日、一三時より銚子市コミュニティセンターに於いて、第十六回銚子支部乗務員分科定期総会及び、第一七回支部定期大会が、支部組合員三〇名の参加で開催された。

まず分科の総会では、本部より、田中書記長と檜垣乗務員分科会長を来賓に招き、庄田支部乗務員副会長の開会の挨拶を受け、議長に田中浩克君を選出し議事に入った。

冒頭、加瀬乗務員分科会長より「九六・一二ダイ改があり、また九七・三ダイ改で、快速列車三本が、酒々井駅停車になる事。九六・一二ダイ改の問題点等、具体的に説明を受け、これからも引き続き調査活動を行い当局にぶつけてゆけば、我々の正当な主張は通る」という力強い挨拶を受けた。

続いて一五時より、支部定期大会が開催された。ここで清算事業団で二度の解雇を受けた伊藤隆氏が忙しい中、出席され「これからも勝利するまで共に闘う」と力強い挨拶を受けた。

大会は、加瀬乗務員分科会長を議長に選出し、続いて錦織支部長より「いつでもストライキに入れる体制を堅持し、組織破壊攻撃を許さず、危機に立つ」

R体制打倒の闘いを最先頭で闘う。九七・三ダイ改で、佐倉機関区廃止提案が出されているがこれを我がものとし、ストライキも辞さず、二月一四日の総決起集会には全力で取り組む」と挨拶を受け議事に入った。

まず、大会延期承認及び、九五年度決算、九六年度運動方針案・予算案が提起され質疑に入った。ここでは、「異常時の指令の対応の悪さはひどすぎる。検査では、夜間一人体制となつたが、一人では何も出来ない」等が出され、また「九六・一二ダイ改で滑河上り列車で、今までは一分以上しないと信号が開かないのに九六・一二ダイ改で一四五六Mと四二八Mが四五秒停車となり、常時遅れている。佐原駅で停留車両のドア扱いが駅となつてはいるが、車掌が出来ないか」等、活発な意見が出された。

続いて、これまで提案された議案を満場一致で確認し、錦織支部長の団結ガンバローで第一七回定期大会は大成功のうちに閉会された。

一八時よりの新年会では、西本前支部長も参加され、最後まで支部と共に闘うことを確認し、さらに団結をかためた。



「団結ガンバロー」

新役員体制

| | |
|------|--------------------------------------|
| 支部長 | 錦織芳雄 |
| 副支部長 | 越川幸夫 |
| 書記長 | 鈴木貴雅 |
| 執行委員 | 郡雅巳 津川日出男 関根一美 川越嘉夫 志賀嘉一 |
| 会計監査 | 片山敏雄 平山和雄 |

中野委員長証言！！ 傍聴動員へ！！

二月六日、一〇時より、中央労働委員会において、「九〇・三ストライキ支配介入事件」中労委の第一回審問が行なわれ、本件ストライキの正当性、JRのストライキ妨害の数々を中野委員長が証言する。

本件は、清算事業団三年目の解雇を目前に控えた九〇年三月一八日、JR東日本に地労委命令(二月二七日に組合側勝利の命令が出ていた)に基づいて二名の原職復帰を求めて実施したストライキに対する妨害や十二時間繰上げを口実にして組合員一四一名に不当な処分を行なったことが不当労働行為であるとして争っていた事件で、九六年四月一六日に組合側勝利の命令が千葉地労委から交付され、これを不服として会社側が昨年五月に中労委に再審査を申し立てていたものである。

本件ストライキの正当性を改めて確認し、不当処分を撤回させるとともに、労働委員会という公的機関の命令をも無視し続け、JR総連革マルと結託して動労千葉や国労解体に手を貸すJR東日本の態度を改めさせるためにも、本件中労委闘争に勝利しよう。全力で傍聴動員に結集しよう。